



JASDAQ

平成 25 年 7 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社シスウェーブホールディングス

代表者名 代表取締役社長 宮嶋 淳

(JASDAQ・コード 6636)

問合せ先 (役職) 管理部長 (氏名) 田口 伸之介

電話 044-738-2470

インドネシア科学院ならびにヌサンタラプランテーション研究所との 大規模商用化に向けた試験栽培開始に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 3 月 20 日付にて、インドネシア共和国（以下、「インドネシア」という。）のインドネシア科学院（Indonesian Institute of Sciences、(LIPI) 以下、「LIPI」という。）および株式会社ヌサンタラ プランテーション研究所（PT Riset Perkebunan Nusantara (PT. RPN) 以下、「RPN」という。）と当社で締結した覚書に基づき、インドネシアにおけるスーパーソルガムの大規模商用生産に向けた試験栽培を開始いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月 22 日付け「インドネシア科学院ならびにヌサンタラプランテーション研究所との大規模商用化に向けた試験栽培に関する基本合意契約締結に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社は平成 24 年 9 月よりインドネシア国内において、LIPI 研究施設内圃場、スマトラ島ランブーン、ジャワ島東部のスラバヤならびにジョグジャカルタの計 4 圃場で、スーパーソルガムの栽培・育成に関する実証実験を進めて参りました。またこれらの実証実験の結果に基づき、大規模商用化へ向けた、圃場の選定、品種の選定、栽培の方法など、さらに詳細な検討を行って参りました（詳細につきましては、平成 25 年 3 月 22 日付け「インドネシア科学院ならびにヌサンタラプランテーション研究所との大規模商用化に向けた試験栽培に関する基本合意契約締結に関するお知らせ」をご参照下さい）。

この度、RPNの子会社であり、サトウキビを中心とする糖類の研究開発を行う株式会社シュガーインスティテュートとの間で、当社のスーパーソルガムの糖ビジネスに関する実用化試験を開始いたします。具体的には、RPNの所有する東ジャワ、西ジャワ、南カリマンタンの各圃場にて、最大で 5 ha の試験栽培を開始し、試験栽培では、スーパーソルガムの搾汁液からのシュクロース、フルクトース、グルコース等の糖成分の分離、さらにそれらを搾汁液から分離・生成するためのテストプラントの建設、実際の運用に向けたフィージビリティスタディを行って参ります。

2. 業績に与える影響について

本件による当期の業績に与える影響はありません。